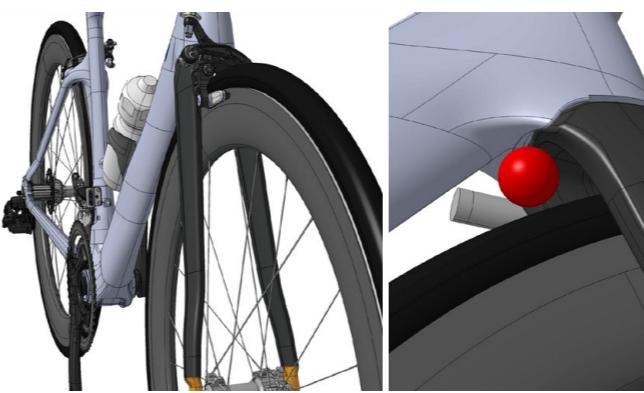


CONCEPT



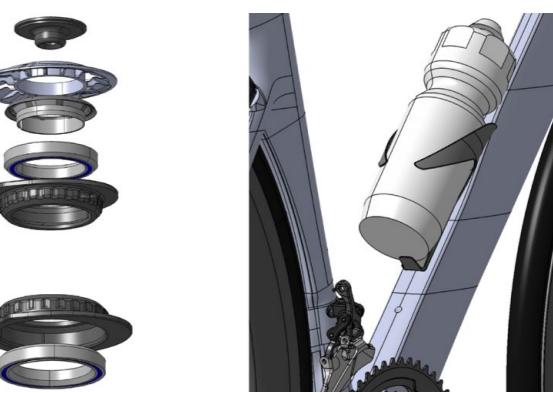
NACA(アメリカ航空諮問委員会)

ウインドシェイプの技術を用いたフレーム設計は、
乱れた風をいなし、勝利の風を呼び込む。
コルナゴエアロードの歴史は「コンセプト」から始まる。



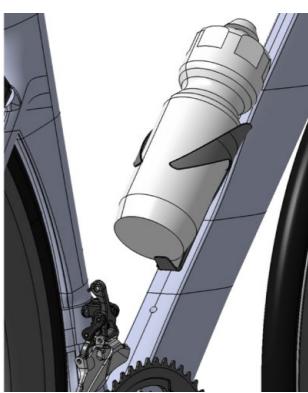
FORK

フォーククラウンとヘッドチューブに一体感を持たせ空力を向上。前方向からの気流とホイールが回転することによる逆向きの気流を逃がすため、クリアランスが広く設計されている。



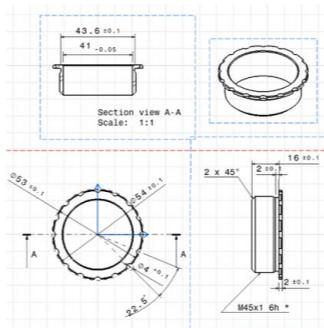
HEAD SET

エアロフレームは縦剛性が強くなり路面からの衝撃を受けやすい。それを緩和する為、ヘッドパーツの構成をカーボン、ナイロン、エラストマーからなる高分子化合物により形成。



DOWN TUBE

カムテイル形状は空力を追求する上では必須である。ワイヤー侵入口はメンテナンス性も考慮し中央前部に配置されている。



BOTTOM BRACKET

C60, V1-rと同じ機構であるスレッドフィット82.5は圧入の際にフレームにダメージを与えないアダプターの役目を担う。適応サイズはプレスフィットBB86となる。



SEAT TUBE

全体のディティールを左右するのはエアロ形状のシートポストのデザイン。ウス式構造のシートクランプは空力にも配慮されている。



BRAKES

シートステイに配されたダイレクトマウントブレーキは、空力性能とメンテナンス性に貢献。高い制動力はライダーに安心感を与える。



TIRE CLEARANCE

欧州の荒れた路面でのレース走行に対応する為、28Cタイヤの装着を前提とした設計。ロングサイクリングにはソフトな乗り味を実現してくれるであろう。